

杉戸町今昔往来伝

古きをたずねて
杉戸を再発見

第81回

千住馬車鉄道④

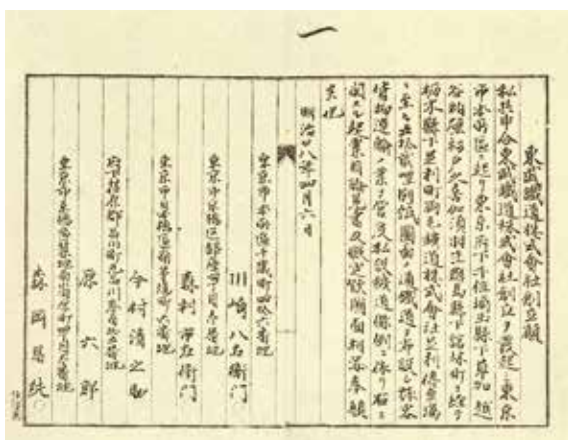
明治二十六年（一八九三）の開業当初、千住馬車鉄道の営業成績は良好だったようすが、長くは続きませんでした。営業成績悪化の要因は、馬糧費（馬のえさ代）と人件費（給与等）とで支出が嵩んだこと、営業収入のほとんどを占めていた乗車賃が、減少傾向にあったことによるようです。

こうした状況に対して、新たに社長に就任した渡辺湜は、明治二十九年（一八九六）四月、経営改善に向け旅客運賃改正認可願を埼玉県知事等に提出しました。その中で、「馬糧の騰貴」だけでなく、「修繕用の木材・鉄材等の価格上昇」「諸職工の賃金増加」を運賃改正の主な理由として挙げています。しかしながら、鉄道（線路）を敷設せず、普通馬車による営業区間となっている「粕壁～杉戸」間については、運賃改正を出願しませんでした。当然、経営改善策は旅客運賃の値上げだけではなかったのですが、興味深いのは、設立が企図されたばかりの東武鉄道株式会社に救済金の支払いを要求していることです。東武鉄道は、明治二十八年（一八九五）四月六日に川崎八右衛門等十二名の発起人によって創立願が提出された私有鉄道会社で、いうまでもなく、ほぼその路線は千住馬車鉄道と競

合するものでした。千住馬車鉄道会社としては、将来的に不利になるという深い危機意識を持っていたのは確かで、実際に救済金要求額の半額である五千円を東武鉄道側から受け取っています。

さらに、人員や出張所の整理、普通馬車営業の廃業等により、支出削減を図っていた。

（つづく）



▲東武鉄道株式会社創立願

（社会教育課 町史・文化財担当編）

Pick up!

杉戸町スポーツ推進委員

問合せ

社会教育課 スポーツ振興担当 内線493

スポーツ推進委員とは？

スポーツ推進委員は、杉戸町教育委員会から委嘱された非常勤特別職です。

任期は2年であり、現在10名の委員が委嘱されています。

スポーツの
「楽しみ」「喜び」を
発信して、
町のスポーツ活動の
普及・発展と一緒に
頑張りましょう!!

スポーツ推進委員の特徴

スポーツに関して熱意・関心・理解を有する方たちが、杉戸町のスポーツ振興のために日々活動をしています。

活動内容

- ・定例会（月1）や埼玉・埼玉県等の研修会の参加
- ・町主催のスポーツ事業の運営補助（マラソン大会等）
- ・スポーツ教室（さいかつばーる・ファミリーバドミントン等）の実施



UD FONT
by MORISAWA

ユニバーサルデザイン(UDフォント)を使用し、読みやすい書体を採用しました。

杉戸町
ホームページ



メール配信
すぎめー



広報スマホ版
マチイロ

